

## ウドの高品質・安定生産に向けた弱休眠性品種の育成研究

### 【研究概要】

本課題では、①促成栽培の年内収穫に向く弱休眠性品種の育成、②重労働の根株養成・株割り作業が不要となる培養苗の生産体系の確立、③新品種保護のための品種識別マーカーの開発に取り組む。

今回の試験では、①有望3系統について促成栽培で評価した結果、いずれも「都」より収量が上回ったが、傷みの多い系統があり、ジベレリン濃度の問題が考えられた。また現地栽培試験を実施し、選抜資料となるデータを収集した。②「都」に適する培地条件を確認し、有望6系統の培養適性を評価した。また「都」と有望2系統について培養苗由来の株分け苗（2年目）の栽培評価を行い、奇形等の変異がみられないことを確認した。③ゲノム解析で得られた配列情報から、マーカー候補の配列を絞り込んだ。